

おはよう

社会福祉法人 愛和会
ローズコミュニティ緑地

contents

01 02 トピックス

子育て支援事業「うりぼー」
-未就園児と保護者に笑顔と安心を-

03 部門紹介

介護老人保健施設きんもくせい 入所部門

04 取り組み

豊中あいわ苑デイサービスセンター
心と体を元気にする取り組み
～OSANPOリハと交流の場づくり～

05 活動報告

地域研修会 / 緑地マーチフェスタ

06 活動紹介

あすなろ(短期入所)

07 あいわの集い

バザー物品提供のお願い



子育て支援事業「うりぼー」

―未就園児と保護者に笑顔と安心を―



子育てに適した環境が整っている一方で、「転勤により子育てを応援してくれる親族や知人が身近に少ない」「気軽に行ける施設が少ない」といった課題もあります。そんな課題を解消し、子どもたちが自由に遊べる環境と保護者同士が子育ての悩みや喜びを共有できるよう、「うりぼー」を提供しています。

子育て支援事業「うりぼー」とは
地域の未就園児とその保護者が安心して楽しく過ごせる場所です。毎月第3木曜日に、ローズコミュニティ緑地3階のさばてん広場を開放しています。

会場では、おもちゃなど自由遊びの時間に加え、季節に応じた行事も行われています。

この地域は自然が豊かで交通の便も良く、駅から徒歩圏内に緑地公園があります。遊具や季節の植物が楽しめる場所です。

たとえば、3月はひな祭り、5月にはかぶとを作成し、秋にはミニ運動会で体を動かし、冬にはクリスマス会で歌や工作を楽しみます。四季折々のイベントが盛り込まれ、親子で楽しめるよう工夫しています。



参加した保護者からは、「広いスペースで子どもがのびのびと遊べる」「同じ年頃の子を持つ親と話せて安心できる」「季節毎のイベントを開いてくれるのが非常にありがたいので、これからも続けてほしいです」「職員の方が優しくて、なんでも相談できる」といったうれしい声が寄せられています。

特に初めての子育てに不安を感じている保護者にとって、同じ立場の仲間と出会えることは大きな支えになっていると思います。そして、来月8月には子どもたちが大好きな人気イベント「ミニプールで水遊び」を楽しみます。

今年で7年目を迎える「うりほー」は看護師、社会福祉士、理学療法士、介護福祉士、ケアマネジャーなど職員一同がそれぞれの専門知識を活かしながら、親子で楽しく過ごせるように心を込めてサポートしています。

今後も子どもたちの笑顔と保護者の安心を支える場として、地域に根ざした活動を続けてまいります。また保護者の意見を聞きながら、さらに良い活動を目指していきたいと思っています。

興味のある方は、ぜひお気軽に「うりほー」に遊びにきてください。子どもたちの笑顔と、保護者の安心が広がるこの場所で、新しいつながりを見つけてみませんか。



介護老人保健施設

「きんもくせい」入所部門



介護老人保健施設きんもくせい入所部門では、病気や障がいにより要介護状態である利用者様が、住み慣れた自宅等で再び生活できることを目指して、多職種協働でサポートさせていただいています。

また、大阪府から推奨されているアドバンスケアプランニング（人生会議）を、きんもくせいでも広めていけるよう、入所時面談において「もしもの時、最期を

過ごしたい場所はどこですか」「重篤な病気になった際、どのような治療を希望されますか」「もしもの時、心肺停止に対して心肺蘇生を希望されますか」等の内容について、ご本人・家族様の思いを聴く時間を設けています。

そして今年度に入ってから、6年ぶりの緑地公園散策を実施することができました。

利用者様の施設生活における思い出作りのサポートがしたいと、職員たちの熱い思いからプロジェクトチームを作り、企画運営しました。安全面確保の為、当日家族様が同伴できる利用者様と職員での散策でしたが、みなさまから喜びの声やたくさんの笑顔をいただき、私たち職員の喜びにも繋がりました。

このような、利用者様・家族様と共に喜び合える施設イベントを、これからも提供できるように、職員一丸となり前進していきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

執筆者 きんもくせい入所部門 三木 さつき



豊中あいわ苑 デイサービスセンター

心と体を元気にする取り組み ～OSANPORIハと交流の場づくり～



豊中あいわ苑デイサービスセンター（以下「デイ」）では、より魅力ある事業所を目指し、コロナ禍以前に親しまれていた「てくてく」を「OSANPO（おさんぽ）リハ」と名称を新たにし、再開いたしました。

短い時間ながらも、心地よく身体を動かし、季節の移ろいを感じながら、エンタランスから望む庭の美しい景観に癒されつつ、リラックスして散策していただいています。また、この取り組みは、他部署のご利用者様や職員との自然なふれあいや会話の機会にもなっており、交流の場としても活用されています。

さらに、デイで制作された手芸作品や絵手紙、書道などの作品を展示した「作品展」もエンタランスに設置しています。ご来苑の際は、ぜひ温かみあふれる作品の数々をご覧ください。

また、6月より、デイと老健きんもくせい通所リハビリテーション（以下「通

リハ」）との合同レクリエーションも始まりました。

「囲碁や将棋、麻雀をしたいが相手がない：」というご利用者様の声を受け、デイ単独では難しい活動も、通リハとの交流により実現の幅が広がりました。両事業所を併用されている方もいらつしやるため、誰もが楽しめる場となっています。

今後も、より多くのご利用者様・ご家族・ケアマネジャーの皆様から「選ばれる・喜ばれる」事業所を目指し、さまざまな取り組みを進めてまいります。



地域研修会

3月12日(木)に2024年度第3回目の「地域研修会」を開催いたしました。

昨年7月に地域研修会として「認知症」をテーマに研修を行いました。その際は、認知症サポーター養成講座として認知症の基本的な理解が中心でしたが、具体的な対応方法も知りたいとの意見もいただきました。

そこで、今回は「認知症の理解と対応について」というテーマで、介護老人保健施設ユーアイの西口良太さんに具体的な対応方法についてお話しいただきました。62名の方に出席いただき、熱心にお話をきいて下さいました。

2025年度も地域研修会を3回開催予定としていきます。

皆様のご出席をお待ちしています。

介護老人保健施設きんもくせい
佐藤 公則



3 緑地地域包括支援センターでは服部緑地公園プロジェクトを企画し、服部緑地スマイルパートナーズとの共催で3月14日に緑地マーチフェスタのイベントを実施しました。

企画内容として、認知症予防・介護予防の普及活動を多世代へ周知し地域住民と専門職等の交流を深め、住み慣れた地域で安心・安全な楽しい生活を実現する第一歩を期待し開催しました。

特別協力として千里山病院・坂本病院等のセラピストやスタッフの方々にご支援頂き、約70名の協力者のもと来園者数は園児から高齢者の方まで約500名となり音楽体操やポッチャ体験、車いす体験、健康相談会、お笑い体操、お花の植え付け体験を青空のもとコーヒをいただきながら、笑顔の時間を共有することができました。

地域が主体となつて動く社会資源の発掘が展開できるように、今後も包括職員一同で、地域に寄り添った活動を継続して参りますので宜しくお願いいたします。

緑地地域包括支援センター
村上 賀美

「あすなろ」の活動



あすなろ（短期入所）は、児童から65歳までの知的障害がいや身体障がい、精神障がい、難病等のあるご利用者様が短期間、宿泊する施設です。
お食事や入浴等の生活支援だけでなく、レクリエーション活動の提供も行っています。



短期入所の利用目的は、保護者様のレスパイトや社会的、私的な理由によって在宅での介護が一時的に難しくなった際の緊急の利用などがあります。

また、ご利用者様の将来的なグループホーム入居を目指して自宅以外での「宿泊経験を積む」ことが目的の方や、ご友人同士で宿泊日を合わせてご利用者様本人の「生活の楽しみのひとつ」として利用される方、ご家族様以外の人と共に過ごす中で「社会性を身に付ける機会にしたい」と考えておられる方等、ご利用者様一人ひとりに異なる目的があります。

そして、その個性に應える為、あすなろ（短期入所）では日々さまざまな取り組みを実践しています。

集団や個別でのレクリエーション活動はもちろんのこと、必要に合わせてご利用者様それぞれの障がい特性に寄り添ったスケジュールボードや簡単な作業を提供しています。

例えば、ある自閉症のご利用者様に対し

では、あすなろ（短期入所）で過ごす時間が視覚的に理解しやすいようスケジュールを作成、ご利用者様がいつ宿泊しても出来るだけ同じ環境、同じ時間で過ごして頂けるようにしています。

2025年度もご利用者様一人ひとりが安心して過ごして頂けるよう、障がい特性に寄り添った支援に取り組んでいきます。

終わったら○をつけます

①		あすなろに来る	
②		タブレット1回	10分間
③		ごはん	
④		お風呂	
⑤		トイレ	
⑥		タブレット1回	10分間
⑦		寝る	

あすなろ（短期入所）で過ごす時間が視覚的に理解しやすいようスケジュールを作成しています。



「あいわの集い」 バザー物品提供のお願い

「あいわの集い」バザー物品提供のお願い

毎年地域の皆さまのご協力により盛況をいただいております「あいわの集い」を
2025年10月19日(日)に開催いたします！

今年も地域の皆様を楽しんでいただけるイベントを多数企画中ですので、
楽しみにしておいてください。

あいわの集いの詳細については次号でお知らせいたします。

そして、今年もバザーを開催いたします。

皆様のご家庭で使用せずに眠っている贈答品や雑貨、食器類などの
未使用物品がございましたら、ご提供いただけませんか？

ご提供いただく物品は未使用品に限らせていただいておりますが、
子ども服に関しましては地域の皆様からのご要望もあり、

「リユース」という形で販売いたしますので使用済の衣類もご提供ください。
お手数おかけしますが、バザー物品のご提供に関しては下記までご連絡ください。

バザーの売上は地域団体に寄付し地域の福祉活動に活用していただいております。
地域の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

-募集物品例-

食器、寝具、雑貨、靴、バッグ、タオル
石鹸、ハンカチ、帽子、介護用品
電池など使用しない玩具、子ども服(使用済可)
その他生活用品(いずれも未使用・新品のもの)



あいわの集い実行委員：河田、菅江 【連絡先】 06-6866-2941

※バザーのご提供についてのお問い合わせは、平日の9時～17時の間にお願いたします。



社会福祉法人 愛和会
AIWAKAI Social Welfare Corporation



Home Page



Instagram



Facebook